

沖縄県公立学校教員候補者選考試験における大学等推薦 実施要領

1. 大学等推薦の内容について

沖縄県公立学校教員候補者選考試験において、大学、大学院又は教職大学院（以下、「大学等」という。）から推薦のあった現役学生（令和6年4月時点）の志願者（以下、「被推薦者」という。）を対象に、第1次試験免除（一部）を実施する。

2. 被推薦者の必要資格について

次の(1)から(3)の要件を全て満たす者を被推薦者とする。

- (1) 沖縄県公立学校教員候補者選考試験実施要項に定める一般選考の受験資格を全て満たしていること。
- (2) 出願時に下記5の大学等に在籍し、令和7年3月31日までに卒業見込みもしくは修了見込みであること。※科目等の履修生は該当しない。
- (3) 学業成績が優秀な者^{※1}であり、かつ沖縄県教育委員会が定める「求める教員像」にふさわしい資質と能力を有する者として、推薦者^{※2}から推薦がある者。

※1 学業成績が優秀な者とは、大学1年生から出願の大学3年生時点（大学院は大学院1年生時点）までの成績（直近の前期（10月）まで）の累積Grade Point Average（以下、累積GPA）が4点満点の場合は3.0以上、5点満点の場合は3.75以上、それ以外の満点の場合は満点×3/4の数値以上の成績の者。なお、大学院及び教職大学院の区分から推薦する場合は、大学院及び教職大学院での取得単位科目の成績評価とする。

※2 推薦者とは、被推薦者が在籍する大学等の学長、学部長又は研究科長とする。

3. 第1次試験免除（一部）について

- (1) 被推薦者の申請により、資格を満たす者は第1次試験の一般教養及び教職教養試験を免除する。
- (2) 被推薦者の申請により、資格を満たす者の一般教養及び教職教養試験の得点は、専門試験の得点率と同様として計算し、第1次試験の可否を判定する。

4. 対象校種・教科について

- (1) 小学校教諭等
- (2) 中学校教諭等（全教科）
- (3) 高等学校教諭等（工業、水産）

5. 推薦を行うことができる大学等について

受験する校種・教科の出願に必要な普通免許状取得の課程認定を受けている大学等とする。

6. 大学等からの推薦人数について

推薦人数に制限を設けない。

7. 推薦及び出願方法について

被推薦者は、大学等に対し、各自で推薦を依頼する。

大学等は、推薦基準を満たすと判断した被推薦者に対して、以下に示す「推薦関係書類（2点）」を作成し、厳封の上、被推薦者に発行する。その際、封書に「推薦関係書類（2点）在中」と表記すること。

被推薦者は、沖縄県公立学校教員候補者選考試験実施要項に定めるとおりの出願手続き（電子申請）を行い、「推薦関係書類（2点）」をその他の提出書類と一緒に同封し、願書受付期間内に、沖縄県教育庁学校人事課まで郵送すること。

(1)推薦関係書類（2点）

①推薦書（様式A）

②成績を証明する㊦または㊧のいずれかの書類

㊦現行の成績が記載されている書類に累積GPAの記載がある場合、原本を添付すること。

㊧現行の成績が記載されている書類に累積GPAの記載がない場合や留学等の理由により必要期間の累積GPAの記載ができない事情がある場合は、成績証明書（様式B）を添付すること。

(2)大学等推薦の注意点

①被推薦者は、電子申請において大学等推薦を選択すること。

②被推薦者からの電子申請及び「推薦関係書類（2点）」の郵送提出をもって、大学等推薦手続きの完了とする。

8. 留意事項

(1)大学等推薦による第1次試験免除（一部）の可否については、提出書類の審査を行い受験票に記載して通知する。なお、提出書類は一切返却しない。

(2)第1次試験免除（一部）の対象となった者は、第1次試験当日、専門試験の終了後に試験会場から退場すること。会場内は試験実施中であるため、静粛を保つこと。

(3)第1次試験免除（一部）の対象とならなかった者は、通常の受験者と同様に一般教養及び教職教養試験を受験すること。

(4)特例措置について

令和6年度実施沖縄県公立学校教員候補者選考試験において、上記「2.被推薦者の必要資格について」にある(3)学業成績が優秀な者の中に、出願時点で大学4年生（大学院は大学院2年生相当、教職大学院は教職大学院2年生相当、短期大学は2年生相当）の者を加える。ただし、下記のア又はイのいずれかに該当する者に限る。

ア 令和6年3月末日までに学校人事課又はいずれかの教育事務所等にその旨の登録を行い、4月以降に、沖縄県に所在する国公立学校での臨任等^{※3}として勤務すること。

イ 令和6年4月から、沖縄県に所在する国公立学校で臨任等として勤務を希望し、令和6年3月末日までに学校人事課又はいずれかの教育事務所等にその旨の登録を行っていること。

ただし、令和6年4月以降の臨任等の任用を断ったり、その連絡に応じない等の場合は、原則として免除の対象としない。臨任等の任用に係る連絡に応じられるよう、臨任等の勤務希望を登録した学校人事課及び教育事務所等の電話番号を事前に確認すること。

※臨任等登録の際に必要な提出書類に、選考試験の出願書類とは別に、上記7にある「推薦関係書類（2点）」を各自で付加すること。

※³臨任等とは、臨時的任用の教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭及び常勤講師並びに非常勤講師（令和2年度からは会計年度任用職員に当たる非常勤講師）をいう。

推薦書（様式A）

令和 年 月 日

沖縄県教育委員会教育長 殿

大学名

推薦者 職・氏名

印

推 薦 書

「沖縄県公立学校教員候補者選考試験における大学等推薦 実施要領」に定める2. 被推薦必要資格の全てを満たす者として、下記の者を推薦します。

記

①氏 名

②学部・学科

③生年月日 昭和・平成 年 月 日生

④卒業（修了）日 令和 年 月 日 卒業見込み・修了見込み

記載責任者： 職・氏名

住 所： 〒

連 絡 先： TEL

成績証明書（様式B）

令和 年 月 日

沖縄県教育委員会教育長 殿

大学名
成績証明者

印

成績証明書

下記の者が、「沖縄県公立学校教員候補者選考試験における大学等推薦 実施要領」に定める2.被推薦必要資格の学業成績が優秀な者に相当する成績を有していることを証明します。

記

①氏 名

②学部・学科

③生年月日 昭和・平成 年 月 日生

④卒業（修了）日 令和 年 月 日 卒業見込み・修了見込み

記載責任者： 職・氏名

住 所： 〒

連 絡 先： TEL